

## 令和5年度 第2回甲賀市文化のまちづくり審議会 議事録

日 時 令和5年(2023年)7月21日(金) 18:00~20:00

場 所 あいこうか市民ホール展示室

出席者 委員 今西委員、梅本委員、原委員、山之内委員、福井委員、瀬古委員  
大野委員、河尻委員、早川委員、今野委員、山下委員、蚊野委員  
以上12名  
事務局 教育委員会事務局 立岡教育長、柚口部長、松下次長  
社会教育スポーツ課 伊東課長、岡崎参事、上村課長補佐、藤田主査

傍聴者 なし

審議会委員12名のうち、12名全員委員が出席であることから、甲賀市文化のまちづくり審議会規則第3条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

### 1. 開会

### 2. あいさつ 教育長

### 3. 委員委嘱状交付

代表して、新規公募による蚊野委員に委嘱状を交付。

### 4. 自己紹介

審議会委員、事務局の順で紹介。

### 5. 協議事項

#### (1) 会長・副会長選任 【資料1】

会長：大野正雄 副会長：福井真理

以降、大野会長により議事進行

#### (2) 附属機関会議公開基準 【資料2】

当審議会は、公開基準どおり公開とすることに決定。

#### (3) 文化芸術に関する条例の制定に向けて協議 【資料3~5】

事務局から経過を説明した後、協議

演劇活動で、小劇場のような規模で活動したい時に、手頃な大きな場所が市内にはない。たとえば、まる一むのようなスペースで、天井に照明を吊り込むことができなくても、スタンド照明が2本あるだけでも、演劇はできる。

(委員)

忍の里プララのロビーが観光拠点施設の忍者館となり、人がたまれない状態になってから、人を集める催しが使いにくくなっている。

(委員)

観光客と催しの観客が重なることも課題と考えている。

(事務局)

信楽のいろいろなところも含め、そのようなスポットにいったら、きっと楽しいのに、かなりの人がそれを知らないと思う。また、おもしろいことが行われていても、つくことで満足してしまって、発信までできていないのは、すごくもったいない。

(委員)

福祉の業界でも、一生懸命準備してやってきたことで満足して、発信が十分できていないと感じることはある。

信楽は、観光客などが、かなり戻ってきていると思う。以前は信楽焼がおもな目的だったが、今は、食の面で訪れる人がいる。そこに、これからは文化や芸術がどう乗っかっていくかだと思う。

以前、あいこうか市民ホールの展示室で「忍たま乱太郎原画展」があつて、作者の尼子騷兵衛さんが来場されたことがあつたが、物産展などいろいろなイベントもやれば、もっと各地から人が来たのにと感じたことがあつた。

(委員)

その展覧会は、観光まちづくり協会が行つたもの。観光協会でも、発信力が課題として認識している。横のつながりの発信力もできていないと感じている。たとえば、信楽の火まつりに信楽高原鐵道に乗ってでかけ、その道中で牛飼の田んぼアートが見られるとか、つなげていくことよい。

(委員)

火まつりは、外部の人も参加できたので、なんて心が広いのだろうと思ったことがある。そのような祭は、なかなかない。その時も、信楽高原鐵道に乗って東京の人が来てくれて、すごく喜んでくれた。感動した人の口伝えは効果があり、宣伝になる。小さなことでも、人の心を動かすことは大事だと思う。

(委員)

情報発信は何のためにするのかが大重要。甲賀市の評価が他から聞こえてくることで、認められていることに気づくことがある。

(委員)

甲賀市の人のいいところも、らしさと思う。

(委員)

草津線や信楽高原鐵道など、本数が少ないものの、駅舎はたくさんあるので、作品の発表ができるプチギャラリーにできないだろうか。

リアル忍者館は、外部の人は良いと思われるだろうが、これまでの利用者にとっては課題がある。

これに関連するのかもしれない愛が、甲賀市には山城がたくさんあり、それが売りなのだが、森林になっている。思い切ってひとつ木を切って、中世の館にしたらどうだろうか。

(委員)

近江鉄道の日野駅で演奏会をしているのはご存じだろうか。電車が走っていないときに使われているが、草津線の駅をリレーして使ってみるのはどうだろうか。こういうアイデアは、われわれからは持っていきにくい。

(委員)

甲南、寺庄、油日の駅舎は、観光まちづくり協会に管理していただいている。待ち時間をどのようにして有効に使うか。

(委員)

短歌は吟行会といって、いろいろなところへ出かけるが、駅で楽しめるようになったらありがたい。

(委員)

告知やお知らせがうまくできていないというお話があった。お知らせだけだとおもしろくないので、発信する人の人となりが見える何かおもしろい一言がないと、たくさん情報が流しても、それはスパム扱いになってしまう。

(委員)

発表する場所があることや発信の仕方は大事だと思う。昨年度は市内小中学校にアール・ブリュットの作品展示を行ったところ、そこから広がるのが大きく、送迎のバスに子どもたちが手を振ってくれるようにもなってきた。単発で終わるとまた元に戻っていくかもしれないので、続けることが大事だと思う。

(委員)

先ほどの駅舎での演奏のお話しに関連するが、出演する側からここで演奏させてほしいというのが、なかなかむずかしい。ここを使ってくださいといってもらったほうが、アイデアが出すなどしやすい。

音楽家の活動もSNSの発信は重要になっている。最近参考になっているインスタグラムの発信では、スタッフがコメントされていて、長くもなく短くもなく、読みやすいアピールポイントがある点である。

(委員)

閉会

福井副会長 閉会あいさつ